



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本康朋

2022年3月30日

東京臨海 RC 【第1233回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第42回例会】

東京臨海RC

創立：1994年8月8日
会長：佐藤大輔
副会長：杉浦孝浩
幹事：勝間田健一
プログラム構成委員長：田中紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創立：2020年12月18日
議長：坂本康朋
副議長：小松啓祐
幹事：勝間田健一

3月30日の卓話

「国際奉仕部門フォーラム」
総合担当：
国際奉仕委員長 柴田剛様

4月6日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海RC会員 大澤成美様
東京臨海RC会員 酒井教吉様

《2022年3月16日ハイブリッド例会報告》

東京臨海 RC 第1232回
東京臨海北斗 RSC 第41回

司会：井上 SAA 委員長

- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」
：ソングリーダー：今井会員



- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長

- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長



ゲストスピーカー 齊藤実様（当クラブ会員）

- ビジター紹介：寺田雄司会員
工藤義孝様（入会見込み者）

- 会長報告：佐藤大輔会長



- ・ 高橋映治会員にお子様がお生まれになりました。
クラブより出産祝いをお渡しします。
- ・ 当クラブ創立28周年記念例会を延期しておりましたが、4月13日（水）の例会時に行うことに致します。
この日は、東京臨海東RC様、東京臨海西RC様と

合同例会になりますので、例会を15分延長し、12:30~13:45の予定で行います。会員皆様のご出席をお願い致します。

- ・ロータリー財団より、認証品が届いておりますので贈呈致します。
◇マルチプル・ポール・ハリス・フェロー③・襟ピン（サファイア3粒）：須藤宗之助会員
◇マルチプル・ポール・ハリス・フェロー②・襟ピン（サファイア2粒）：入澤昭彦会員
- ・トンガ王国海底火山大規模噴火への支援金、ロータリー希望の風奨学金への支援金、ウクライナ支援金と重なっておりますが、ご理解いただき、ご協力をお願い致します。



■ 幹事報告：勝間田幹事



- ・次週3月23日（水）は、当クラブの例会は休会です。
- ・3月の理事役員会議事録を3月10日に会員皆様へメール送信致しました。
- ・トンガ王国海底火山大規模噴火への支援金は、先週の例会で37,000円集まりました。今週も募金箱を回らせて頂きますのでご協力よろしくお願い致します。
- ・ロータリー希望の風奨学金へのご協力、よろしくお願い致します。地区からは、お一人3,000円以上を目安をお願いしたいとのことです。ご協力宜しくお願い致します。
- ・バギオだより3月号をメールボックスに配布しました。
- ・5月31日（火）に延期になっておりました地区大会のご案内を会員皆様へメールにて送付させて頂きました。是非、ご登録頂きたくよろしくお願い致します。
尚、臨海RCの申込締切は、3月30日までとさせて頂きます。WEB登録システムで登録しますので、それ以降のお申込みは、WEB登録が締め切られてしまいますので、当日登録をお願いします。
また、5月31日（火）は移動例会を行いません。
地区大会の翌日の6月1日（水）は、通常通りの例会を行います。

■ 委員会報告

- ・プログラム構成委員会（田中委員長）
ロータリーの友3月号記事紹介

- ・国際奉仕委員会（柴田委員長）



- ①国際奉仕部門フォーラムを次回例会3月30日に開催致します。会員皆様のご出席をお願い致します。
- ②ヒューストンで行われる今年度世界大会期間中の6月5日に、「日本人親善朝食会」が開催されます。登録頂ける方は、3月30日までに東京臨海RC事務局宛お申込みください。

- ・ロータリー財団（酒井委員）



- 若林ガバナーより、ウクライナ支援金協力依頼が届いております。今回の支援金は、ロータリー財団の年次基金の災害救援金に寄付します。ウクライナや近隣諸国のロータリアンが補助金を申請し、ウクライナ地域及びウクライナから逃れた方々への支援活動に使われます。国際ロータリーのネットワークとロータリー財団の制度を活かした方法です。3月・4月の例会にて、受付させて頂きますのでご協力お願い致します。
- ・次期幹事（井上次期幹事）
地区研修協議会は4月15日に開催されます。地区研修協議会の出席義務者の皆様へご案内を送付しております。出欠の有無の返信は、本日までにお願いしておりますので、ご返信頂いていない方は、本日中にご連絡をお願い致します。

■ 出席状況報告：今会員



（ハイブリッド例会・まん延防止等重点措置期間）

東京臨海RC

会員数：61名

出席：31名（例会場：31名 ZOOM：0名）

欠席：30名

出席率 51.67%

東京臨海北斗RSC

会員数：21名
出席：9名（例会場：1名 ZOOM：8名）
欠席：12名
出席率 42.86%

■ニコニコBOX報告：伊佐委員

（ご意向）今日は久しぶりに卓話をさせていただきます。
宜しくお願い致します。：齊藤会員

（ご意向）齊藤さん、本日の卓話、とても楽しみにしております。：佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、秋田会員、今井会員、柴田会員、寺田雄司会員、井上会員、須藤会員、高橋会員、酒井会員、渡辺会員、田中会員、入澤会員、内海会員、諫山会員、坂本康朋会員、太田会員、櫻田会員、今会員、佐久間栄一会員、小林健一郎会員、大西会員、白幡会員、吉成会員、虻川会員、伊佐会員

【26件 48,000円 今年度累計 1,243,000円】

■卓話（紹介者：プログラム担当 太田委員）

1)「イニシエーションスピーチ」

2)「バギオ基金について」

東京臨海RC会員

一般財団法人比国育英会バギオ基金副会長 齊藤実様



当クラブの創立メンバーとして30年となりました。今後は僕を抜いていただきたいと思っております。本日はよろしくお祈りします。

いまさらイニシエーションスピーチということですが、最近新しい方のイニシエーションスピーチを聞かせて頂くと非常にうまいなあと感じております。

30分という時間をもらっていますので、バギオ基金を含めてお話させて頂こうと思っております。

自分がRCに入ったきっかけも、なかなか人前でうまく話すことが出来ず、どもってしまったりでJCから始まりRCに入会させて頂きました。

若く見られがちですが、今年で74歳となります。

いわゆる団塊の世代の一人であります。

最近では軽い認知症が入っているのか、人の名前が覚えられなくなってきています。

生まれは三軒茶屋あたりでして、現在の仕事一筋で40年やっております。

なんで江戸川区に引っ越してきたといいますが、父親がいろいろな事業をやっていまして、その中で人がいいものであずき相場か何かで大変な借金をしてしまい、江戸川に越してきました。

大変なショックを受けたことを覚えています。

いかんせん70年生きているもので15分で話すのも難しいのですが、ちょうど50歳の時に最愛の妻をがんで亡くしました。

あんなに元気で子供も二人成人して、これからだというときだったのでがっかりしました。

その時にRCの方たちが悲しいことを忘れさせてくれました。

そのような皆さんの励ましがあつて、助けて頂きました。ですので、車いすに乗ってでもこのRCには顔を出したいと思っています。

その後、親ほどの年齢の違うこと結婚しました。

現在では正月には12人の子どもが集まる大所帯で楽しく過ごしています。

景気の良かった時にはお店を出してあげたり、酒は強くはないのですが、飲み屋をやろう！ということで銀座にお店を作ったり、いろいろとやってきました。

またその後、向島にはまり、毎晩のように料亭通いをしていました。

毎月30万から40万を30年間つづけていっていくら使ったのか考えたくないほど通いました。

大したことはしてないのですが、5大奉仕の一つである国際奉仕のバギオ基金について話していきたいと思っております。

今年の9月8日に40周年の祝賀会をニューオータニで行います。

今年は2年いけなかったもので、行こうということで5月にバギオ訪問も行います。

RCが出来たのは1905年ですが、その2年前に日本人53000人ほどがフィリピンに働きに行っていました。第二次世界大戦の激戦地としてフィリピンは知られていますが、その日系二世の人たちが立ち上がり始めました。

バギオという場所はルソン島の北部にあります。

なぜフィリピンが戦争の激戦地になったかということ、マッカーサーが日本人がせめて来た時に必ず、フィリピンを突破しろ、とのことで激戦地になったとのことです。

シスター海野さんという方が戦争から山に逃げた方たちをもう戦争は終わったから出てきてと伝え、教育を教えていました。

そのシスター海野さんを支援する名目でバギオ基金が立ち上がりました。

錚々たる方たちが会長を歴任し、現在は40周年を超えております。

バギオ基金というのは現地で子供たちの支援をするために、直接学校に納めるようにしています。

奨学生をむこうに連れて行ったりもするのですが、現地の生活を目の当たりにすると本当に戻ってきたときに自分の置かれている状況を考え、良い子になるとも聞いています。

子どもたちはサッカーボールを持って行っても喜びません。

なぜかというとな靴がなかったりするので、捨ててしまうような靴をもっていったりもします。

すでに4000名を超える子供たちの支援がされています。

留学生の受け入れも行っていて、学業を卒業されてからエスプランナーさんに入社されて活躍されています。

現在までに留学生も 14 名受け入れを行っており、我々の地区大会などでも発表をしてくれるなど協力もしてくれています。

4 年前に優秀な学生も亜細亜大学に入学し、4 年間特待生として、昨日卒業をしました。

今後はアメリカでの大学院で学ぼうと考えているそうです。

駆け足で 40 周年のバギオ基金の説明をさせて頂きましたが、ここで私のイニシエーションスピーチとバギオ基金のご説明を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長

